

R Y O S Y O
両小だより草加市立両新田小学校
学校だより 8, 9月号
令和4年 8月29日
児童数 434人

「相手の気持ちを考えて」

校長 帆玉 敬一

39日間の長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今年の夏休みは3年ぶりに行動規制がなく、感染予防対策を講じながらいろいろな場所へ出かけたご家庭も多いことでしょう。楽しい思い出をたくさん作ることができた子どもたち、2学期も両新田小で多くの思い出を作ってほしいと願っています。

さて、私事で恐縮ですが高校生までも野球部だった私は、この時期高校野球をよく観戦しています。今年の全国高等学校野球選手権は、仙台育英高校が悲願の初優勝(東北勢では、春夏の甲子園大会通じて初めての優勝だそうです。)で幕を閉じました。優勝候補筆頭だった大阪桐蔭高校を下し決勝戦へ進出した下関国際高校との熱戦は、多くの人々に感動を与えてくれました。

夏の甲子園大会が始まる前、我が母校も地方大会で決勝戦へ進みましたがあと一步のところまで敗退し、残念ながら全国大会に出場することはできませんでした。他の地方大会決勝戦の結果も気になった私は、奈良県大会の決勝戦の情報を目にしました。奈良県大会決勝は、今春選抜大会出場の天理高校と県立の生駒高校の対戦でした。しかし、生駒高校は新型コロナウイルス感染のため準決勝登録人数20名から12名を入れ替えて決勝戦に臨みました。結果は21対0。天理高校監督の「プレーで手を抜くことは失礼だから本気でやってこい。」という指示の元、選手が全力で戦った天理高校の勝利でした。さらに感動したのが生駒高校の攻撃も9回裏ツーアウト、天理高校内野手がマウンドに集まりました。そこでキャプテンが話したのは「勝っても喜びを抑えて、淡々と整列しよう。」ということでした。生駒高校ナインの気持ちを思いやり、天理高校の選手たちは、県大会優勝・甲子園出場決定という大きな喜びを抑え試合終了を迎えたのです。

8月18日(木)、第10回「いじめ撲滅サミット」が、3年ぶりに草加市中央公民館ホールにおいて開催されました。本校からは6年生の高山さんが参加し、大きな声でしっかりと発表することができました。参加した子どもたち全員で声を揃えて行った「いじめ撲滅サミット宣言」の唱和からは、大変力強い意思が伝わり感銘を受けました。

草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット宣言」

この宣言の中の1つに「相手の気持ちを考えて行動します。」の言葉が掲げられています。本校も、天理高校野球部の選手のように、また、宣言にもあるように「相手の気持ちを考えて」行動できる児童の育成に邁進していきます。

まだまだ残暑厳しく、熱中症対策(WBGT31以上での運動等禁止)、マスクを外しての登下校や外遊びの奨励など、子供たちの健康管理には十分留意しながらの2学期スタートとなりました。新型コロナ感染予防も講じながら、できる限り学校行事を実施していきたいと考えています。今学期も、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様、学校応援団、地域の方々におかれましてはこれまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

わたしたちは、次のことを宣言します。
一、お互いを認め合い、助け合います。
一、いじめを見ずごしません。
一、相手の気持ちを考えて行動します。
一、笑顔いっぱいの学校をつくれます。